

編集後記

▼春も体感できるように、道端を見ると、フキが伸びているではありませんか。早速、油炒めに挑戦。やはり新フキは柔らかくておいしい。思わず顔の表情も和らぎ笑顔になります。▼TVで「笑うと体によい物質が分泌される」と放送されていました。皆さんも1日1回笑って心も体も元気に楽しく過ごしましょう！（内柴）

▼5月に入りやっと桜が咲き、きれいなピンク色の花を見ると心が和みます。6月下旬にはあやめヶ原のヒオウギアヤメが見頃を迎えます。皆さんも足を運んでみてはいかがでしょうか。▼先日、今年初めてパークゴルフを。スコアはいまいちでしたが、普段、歩く機会が少ないので、健康づくりも兼ねてパークゴルフ場巡りをしたいと思っています。（大門）

▼今月から表紙デザインを変更。漢字で「厚岸」としましたが、いかがでしょうか。▼↑（大門）として最後の編集後記になる予定です。本人から何か報告があると思ったが、来月号へ持ち越しみたい。来月号は（大門）ではないですが、人事異動じゃないですか。▼ナイショですが、特にダイエツトしている様子もなかった…。ドレスは入るのか？（田崎）

ひとのうごき

●人口/11,001人 (-13)

男/ 5,236人 (0)

女/ 5,765人 (-13)

●世帯/4,428世帯 (+15)

●出生/ 5人 ●転入/112人

●死亡/ 7人 ●転出/123人

●外国人/98人 92世帯

4月30日現在 ()内は前月比

■発行/厚岸町
■編集/総務課広報情報係

〒088-1192
北海道厚岸町真栄3丁目1番地
TEL 0153-52-3131
FAX 0153-52-3138

URL <http://info.town.akkeshi.hokkaido.jp>
携帯電話 <http://203.180.48.2>
E-mail akkeshi@pop2.marimo.or.jp

生きる力

(今月のタイトルは厚岸中学校2年の濱野愛花さんが書きました)

町内小・中学校をリレーで紹介

学習指導要領の理念である『生きる力』
この『生きる力』をはぐくむため
学校ではさまざまな取り組みをおこなっています

第9回 厚岸町立厚岸中学校

修学旅行での昆布配り

本校では、3年生の修学旅行の中で、厚岸産の昆布配りを行っています。

この取り組みは、次のことを目的に行っています。

- ① 地元の漁業資源を理解し、生産から消費への視点を持つ。
- ② オリジナルの製品ラベルデザインを考え、『製品』として販売する感覚を体験する。
- ③ 地場産品を通して厚岸をPRし、起業家精神を養うと同時に、地域振興に貢献する。

厚岸町のPR活動として、厚岸漁業協同組合の全面的な協力を得て、無償で提供された厚岸特産昆布を、自作のパンフレットとともに札幌駅の構内で配布します。

生徒達は最初、都会の駅構内で昆布を配布することに、「きちんと声を掛けられるだろうか」「昆布を受け

取ってもらえるだろうか」という不安と緊張を隠せないですが、駅の構内にPR用ののぼりを掲げ、構内の人に声を掛けてみると、多くの人々が生徒達の声に耳を傾け集まってくれます。

昨年度は250パック用意した昆布を、15分であったという間に配り終えました。予想を上回る好評ぶりに札幌駅の担当者から、次年度はもっと多くの昆布を配布して欲しいという要望も受け、今年度は450パックの昆布を厚岸漁協から提供していただき、5月20日に配布しました。

昆布を受け取った人からは「昔、厚岸に住んでいたことが懐かしい」「厚岸には観光で行ったことがある」などと声を掛けてもらったり、後になってお礼や励ましの手紙をいただいたりと、生徒にとって大いに励みとなる活動になっています。

生徒達は、この地元産昆布の配布をとおして、製品を消費者へ届ける大変さを学び、さらに厚岸町の良さ

を多くの人に知ってもらおう活動ができたというところで、厚岸町の住民の一員として少しでも貢献できたという自信につながり、郷土の厚岸を愛する気持ちを、さらに強く持つことができたと思います。

この活動をこれからも続け、さらに充実させていければと思います。

